

視 察 調 査 報 告 書

<米軍基地関係特別委員会>

令和3年第10回沖縄県議会（11月定例会）

令和3年11月29日（月曜日）

沖 縄 県 議 会

## 米軍基地関係特別委員会視察調査報告書

### 視察調査日時

令和3年11月29日 月曜日（1日）

### 視察調査場所

宜野湾市野嵩

### 視察調査事項

軍使用土地、基地公害、演習等米軍基地関係諸問題の調査及び対策の樹立  
（宜野湾市におけるMV22オスプレイからの水筒落下現場の確認について）

### 視察調査概要

別紙のとおり

### 参加委員（8人）

委員長	照屋守之君
副委員長	照屋大河君
委員	仲村家治君
〃	山里将雄君
〃	瀬長美佐雄君
〃	仲村未央さん
〃	新垣光荣君
〃	仲宗根悟君

### 議会事務局（2人）

議会事務局政務調査課主幹	下地広道
議会事務局政務調査課主査	宮里正樹

## 別紙（視察調査概要）

### 1 宜野湾市会議室において概要説明

#### ○（宜野湾市長）

まず今回、家主の玄関前に落下しているという観点で、マスコミややじ馬も含め、宜野湾市、警察、防衛局—その日は家主の方に朝9時頃から13時過ぎまでずっと対応していただいて、さらにその翌日からもマスコミ等も含めての対応等もあり、家主からの要望があった。（バスの中からの視察など家主への）御配慮に感謝する。

実際の防犯カメラの映像を見ると、落ちた瞬間に破裂して、缶が飛んで、隣に落ちたという形である。

通報が遅れたのは、一番は米軍に原因があるが、落としたのは分かってたはずがその報告がないと。家主が玄関前にこの缶が転がっているのを見て、これ何だろうと。たまたま息子さんがお医者さんで、これちょっと落下物じゃないかなというような懸念があるということで、防犯カメラの映像をその日に確認したら、やはり落下物だ、破裂をしてると。夜中11時過ぎにその連絡があって、翌日の朝早々に現場に出向いて、おわびも申し上げながら御本人の了解をいただいて、その後の警察や防衛局への連絡も市役所サイドが対応した。それからは報道にあるとおりの流れになっている。

宜野湾市としては早速その日に沖縄防衛局に、2日後の金曜日には外務省沖縄事務所に抗議した。G7に対してはなかなか日程が取れなくて本日会った。宜野湾市としても、本当にその状況見ると、万が一人に当たった場合は死者が出るのではないかというくらいの衝撃である。その危機感は改めて感じたところだが、4年前にも普天間第二小学校に7.8キロのヘリ窓が落ちた事故があり、それが少し落ち着いてきたかなと思っていたら、また、それを思い起こさせるような事故となり、非常に残念な思いをしている。

木曜日に玉城知事に面談する機会があったので要請もさせていただいたが、ぜひ県議会の軍特委の皆さんも、この厳しい環境というのを改めて見ていただきたい。何とかしたいという思いを共有いただいて、連携をぜひお願いしたい。

#### ○（宜野湾市基地渉外課長）

お手元の資料に沿った時系列として、市としては、11月23日18時30分頃に実際に落下物があったのではないかとということで認識しているが、ただ

連絡があったのは23時15分頃ということで、本市としては翌日に行動を開始した形になっている。

まず第一に市長が現場に行って、我々から宜野湾警察署、沖縄防衛局に連絡をした。最初に警察が来て、約1時前に現場検証を終了した。

防衛局からの情報提供として一こちらは恐らく沖縄県にも同じ情報が入っていると思われるが、海兵隊からの航空機からの落下物ということで、情報提供があった。発生時間は令和3年11月23日18時30分から19時の間。航空機はMV22オスプレイ。落下物は個人の水筒であり、内容物は先方の言い分では水ということで報告を受けている。後半はちょっとカットして、再発防止策として、MV22の飛行を再開する前に、普天間飛行場の全ての航空機の乗組員に対し、航空機の運用に際しては固定されていない装置については機体内において固定するという既存の手順に従うことの重要性について、再度注意喚起を行ったということで承知をしていると。

次に落下物の写真—これはメディアにも提供している写真である。A4横の写真で、まず1番目—この写真は一応今回は取りあえず後で回収させてほしい。今から現場に行くのが①落下地点付近ということで、現場検証が行われている写真の様子になっている。この茶色のブロック—茶色の玄関先での落下というふうに認識をしている。

2枚目をめくって、落下したものの本体の水筒。大きさを比較するためにたばこの箱を隣においているがこれは落下物ではない。右の物が水筒の破片、恐らく下の一底の部分なのかなと思うが、水筒の破片があったと。水筒本体と蓋とそれに付随するもの—破片が落下物として現場にあったということになっている。

広がりとしては、この道路を挟んで道向かいのお家まで物が飛散している様子があったので、そこは警察が結構幅を取って規制線を引いて約3時間程度現場検証を行っていた。そのときの様子は、落ちていた物を、よくドラマとかで見るチョークで丸でくくったりしているというものであった。水筒については、防衛局が宜野湾警察署に危険物かどうかの依頼をしているとのことで、そこで検証が終わった後に防衛局に引き渡されると思われるため、その内容についても注視していきたいと考えている。

めくっていただいて④。落下地点付近に一白い壁のこういったところに破片が飛んだのではないかとということで、その辺も警察署に情報提供しているところ。

最後に、落下地点で、このような規制線を張って警察による現場検証が行われたという写真になっている。

○（宜野湾市長）

翌々日に宜野湾警察署の玉那覇署長から、内容物は水だと。特に毒性もない、放射能もない、まず害はないものだというので、検査結果について口頭での報告があり、そこは安心している。

○（宜野湾市基地渉外課長）

やはり落下物があってはかなり一普天間飛行場は市街地に近く、何が落ちても大変な被害になる可能性が非常に高いということで、それで厳しい状況というのは国に対しても、県に対しても共有していただき、なるべくこの問題が一日でも早く解決するようという内容で要請書を作成している。

## 2 現場視察

（その後、バスで移動し車中から現場を視察した。なお、落下現場の住人への配慮から住宅の写真撮影は控えるよう宜野湾市から要請があったため、添付の視察状況写真には具体的な落下現場は写っていない。）

米軍基地関係特別委員会 令和3年11月29日  
MV22オスプレイからの水筒落下事故現場視察

